

～バーチャル株式を体験して～

STOCKLEAGUE544

奈良県立奈良商業高等学校

リーダー 木下麻実

飯島まなみ

石塚陽子

国分真奈美

指導者 教諭 石田 恵信

高校生の私たちの日常生活において、株取引に関わることがほとんど少ないが、今回、バーチャルの世界で株取引を体験することができ、たくさんの事が理解できたと思います。ポートフォリオをするに当たり、バーチャル上でしたSTOCKリーグを生かして、「下着を作って売る」という上のテーマで長期の株取引を進めることにしました。ちなみにSTOCKリーグでは、仮想資金100万円を「大日本印刷」「近畿日本鉄道」「吉野家ディー・アンド・シー」に投資させていただきました。

1 . テーマの理由

なぜ、このようなテーマにしたのかという理由は、次のとおりです。

- ・私たちのグループ全員が女の子だから
- ・胸を大きく見せたいから
- ・胸をきれいな形に見せたいから
 - 10代以上の女性の多くは特に体型が気になっている -
- ・下着は日常生活に密着しているから
- ・男の人はオッパイが好きだと思うから
- ・下着は私たちのデリケートな部分を守るから
- ・体を保温する効果があるから

これを元にポートフォリオを作成します。

2 . 原材料

まず、下着（特にブラジャーなどの女性用のもの）は、どのような素材を使ってつくられているのかを想像しながら、ある程度のことを決めました。

- ・繊維
- ・金属
- ・機械

3 . 取引会社

- ・東海染工
- ・旭化成工業
- ・東レ
- ・北日本紡績
- ・アツギ
- ・上毛撚糸
- ・神戸生絲
- ・石川製作所
- ・蝶理
- ・トスコ
- ・津田駒工業
- ・クラボウ（倉敷紡績）
- ・伊藤忠商事
- ・丸紅
- ・蛇の目ミシン工業
- ・日亜鋼業
- ・帝人
- ・ワコール
- ・マイカル

4 . 取引会社について

株取引の相手の会社を決めるに当たって、下着の材料を扱っている企業が探すのが非常に困難でした。特に繊維業に偏りがちになっていて、その中でもいろいろそれを扱っている企業が限られてきたためでした。その結果、3のような形になりました。

2、3の内容を元にして私たちが特に重視したところはCMなどで有名な大手企業には多額の資金を投資し、そのほかの企業に対しては、大手企業よりやや少なく投資することにして、利益を得るような形にしてみました。

まず、下着自体を扱っている会社として選び出したのは、ブラジャーなどの「ワコール」とストッキングが主力としている「アツギ」（最近はやや低迷している）です。ここを軸にし、この会社が取引を行っている相手を調べて行き、取引先が多く見られたのが「旭化成工業」「東レ」「伊藤忠商事」「丸紅」などで、これらの企業は広い分野で活躍しています。私たちは『イヒ』というインパクトのあるキャッチフレーズの「旭化成工業」、炭素繊維世界一の「東レ」、ポリエステル中心の「帝人」、衣料用麻が主力の「トスコ」、合繊紡績系大手の「北日本紡績」、羊毛の企画力に定評のある「クラボウ（倉敷紡績）」に主に繊維業（布地関係）を、布をつなぎ合わせるためには糸が必要となるため、繊維業（糸関係）として選んだ企業は、パンスト、蚕糸が主力の生糸老舗「神戸生絲」、合成ねん糸加工を拡大し、絹ねん糸老舗である「上毛撚糸」です。下着でも少しおしゃれなものにしたいと考えると、彩りが欲しくなり、よいものに仕上げるためには染色があればいいなと考え選んだのが、短繊維織物、ニットの染色で世界トップクラスの「東海染工」です。

ブラジャーに使われているワイヤー（胸の形を整えるためのもの）の金属を扱い、卸売業で総合商社大手の「伊藤忠商事」「丸紅」鉄鋼業の「日亜鋼業」、機械を扱う企業が多々あるが、特に繊維と密接につながっている会社がリピア織機、大型合繊織に強い「石川製作所」超自動織機の手で繊維機械は売り上げ増の「津田駒工業」の2社にしばらく、両方に同じ金額を投資して、様子を見ることにし、家庭用ミシンが主流である「蛇の目ミシン工

業」保守的なイメージがあるので期待しています。そのようにして1つの商品に対して一つの素材にこだわらず、あらゆるものを使うことで株取引をいっそう楽しむことにしました。

また、下着を売るためには、小売業・卸売業が必要と思われ、小売業として選んだ企業は全国に事業を展開し、CMでもおなじみの「マイカル」、卸売業には、「丸紅」「伊藤忠商事」とつながりのある「蝶理」にしました。

私たちはこのように構成し、会社の流通経路を固めてそれぞれに投資しました。

5．企業に期待すること

最近、某下着メーカーが光るブラジャーを発表し、その素材の一つにNASA (National Aeronautics and Space Administration = アメリカ航空宇宙局) の宇宙服にも使用されたことで話題となり、また、私たちが投資した企業の一つ「ワコール」が某会社と提携し、サニタリー用品の強化をし、CMで流れていたことは有名です。

私たちは投資した会社には、肌触りがよく、ユニークなもので、女性の悩みを解消し、時代のニーズに合うように作っていただきたいと思います。

今日では、いつ会社が倒産してもおかしくないですが、高度経済成長の時代のように株式が支えることで会社と私たち株主とが調和していけるとよい結果が得られそうです。

6．現在の状況

11月19日の月曜日当たりから始まり、3ヶ月間という長い期間に仮想資金500万円以内で投資する目的の「自主テーマによるポートフォリオ学習」は、約2週間が過ぎ（これをまとめたのが11月下旬のあたりである）、11月29日次点の結果を見て私たちのグループは、まずまずの滑り出しを見せているように思われます。

まず、11月27日から12月1日の間、東証のおおよその株の動きを日本経済新聞を参考にしながら見てみることにしました。

- ・ 11月27日（月） 今週の株取引の始まり
- ・ 11月28日（火） 全体的に下がり、最も安値の会社が多々見られる
- ・ 11月29日（水） ややばらつきが見られ、この時点では私たちのグループの評価額 ¥5,028,012で、私たちが投資した繊維業者は上昇している
- ・ 11月30日（木） 昨日と比較すると、やや株価が上昇している
- ・ 12月 1日（金） 全体的に上昇しているが、最高値の会社より最も安値の会社が多くなっている

この結果を見てみると波のような動きと天秤のような動きの二つがあり、これらを元にその後どうなるかを予想してみると、2月9日にはあまりよい結果が得られそうにないと思います。しかし、いつどのようなことになるかわからないことは事実であり、政治によっても動くことがいえると思います。

7 . 全体の感想

商業高校に通って、あらゆる商業の勉強をしてきましたが、株について前文で述べたように、興味があまりなかったため、バーチャル株取引を授業に取り入れたことに関してはじめは乗り気がなく、なにからすればよいかわからない状態でしたが、「一つの銘柄にしばった場合」と「いくつかの銘柄でポートフォリオを組んだ場合」という二つの投資方法を通じて、株取引のおもしろさや日本経済の支えとなって、ほぼ毎日めまぐるしく株が動いていることが、わたしたちの日常生活を左右していることを知り、非常に大切なものと知ることができました。しかし、私たちの通う学校では、情報源の一つであるインターネットの環境が整っていなかったため情報入手が非常に困難で他の学校のグループより一歩遅れた形になり、不利だったと思います。

株取引は一種のギャンブルのようなものだと感じましたが（あるボードゲームでも株が登場する）、証券会社を通じて人と人がどこかでつながり、支えあっているともいえると思います。今の時代には人間関係が薄いという事実が株によって、隙間を埋めてくれるような気がしました。

最近、証券会社の数も増えCMも多く流されていますが、「バーチャル株取引の体験学習」をしていくうちにテレビのニュース番組の一日の平均株価を伝えている時間や株の番組、新聞では朝から経済面をチェックするようになり、世の中の動きを少しずつ理解することができました。今、日本は経済の不況の中にあり、やや回復の傾向にみられています。特に、携帯電話やパーソナルコンピュータなどのIT (Information Technology = 情報技術) の発達、進歩によりどのような動きをみせるかが楽しみです。

今後、この貴重な体験を生かして就職や資格の取得などに役立てていきたいと思います。

最後に、もし私たちの手元に多額の資金があれば、是非、投資して利益を得たいと思います。